

シズベルジャパン創立5周年祝賀会開催される

2012年4月20日 東京発 - 知的財産権管理及び特許権活用の世界的なリーダーであるシズベルは、在日イタリア大使ヴィンチェンツォ ペトローネ氏のご出席もいただき、大使公邸において本日、日本の電気機器メーカーを含む各社の代表をお招きし、日本におけるビジネス展開の戦略的拠点であるシズベル子会社、シズベルジャパン株式会社(東京)の創立 5 周年を記念して祝賀会を開催しました。

ペトローネ イタリア大使は、次のように会の重要性を強調しました「技術革新の強化に多大な関心を持つイタリアと日本両国間においては、知的財産保護のための国際的協力が進展するでしょう。シズベルは、近年、日本で知財分野における評価モデルにまで成長しました。」

祝賀会において、シズベルの創業者であるロベルトディーニは、次のように述べました。

「特許権、デザイン、商標等といった無体財産は、国際的なビジネス競争で今後ますますその価値を高めて行くでしょう。近年、シズベルが行った無体財産の有効利用は、イタリアの産業にとって重要な進路であり、新興国との競争を余儀なくされ、大きな困難に立ち向かっている日本を含む先進国の産業にとっても同様に重要な進路です。」

ロベルト ディーニに続き、シズベルグループ最高責任者であるジュスティーノ デ サンクティスは、次のように明言しました。「日本企業は国際的に見ても自社技術の保護に非常に敏感であり、それゆえパテントプールというものの重要性をよく認識している。シズベルジャパンは、権利価値を経済的に正しく評価するためにシズベルグループが培ってきた能力を、日本企業に対し提供することを目指しています。」

さらに続いて、シズベルジャパンの代表取締役である尾形偉幸が挨拶し「日本企業は世界的に多くの特許保有しながら必ずしもそれらを有効に活用しきれていません。シズベルジャパンは日本企業がそれら特許を活用し、知の創造サイクルを有効かつ速く回せるよう支援して行くという強い意志を持っています。」と語りました。

祝賀会の締めの言葉として、ソニー株式会社ソニーユニバーシティ学長の青木昭明様からは、次のようなお言葉をいただきました。「近年、新製品、新システムは、多くの多様な技術から成り立っているものが多くなっています。その要素技術を保有するライセンサーも、あるいは、その技術を使ってビジネスを始めようとするライセンシーも、共に、単独では動くことが困難な時代です。新しい産業、新しい市場をスムースに早期に立ち上げる為には、この多数のライセンサーと多数のライセンシーを、グローバルレベルで結び付けるシズベルグループの役割が、益々重要になってまいります。シズベルグループの今後の一層の発展を祈念いたします。」



シズベルについて

シズベルグループの歴史は、1982 年イタリアに設立されたシズベルから始まります。今日まで、グループは、知的財産の管理及び特許から派生するさまざまな権利の経済的評価のできる世界的なリーダーです。シズベルは、イタリアにシズベル(トリノ)とエディコ(ローマ)、米国にシズベル USと Audio MPEG (ワシントン DC)、中国にシズベル香港、日本にシズベルジャパン(東京)、ドイツにシズベルジャーマニー(シュトゥッツガルト)、そしてルクセンブルクにシズベルインターナショナルの拠点をもつグローバル企業であり、技術、法律、特許の専門的知識を有する100名余りを擁しています。

シズベルの歴史は、大きな成功を収めた特許ポートフォリオ管理と深く関係しています。とりわけ、MP3 及び MPEG Audio の音声圧縮標準規格に関連する特許を筆頭に、世界に普及した技術である OSD(オン スクリーン ディスプレイ)、 ATSS (オートマティック チューニング アンド ソーティング システム)及び WSS (テレビ映像自動切替ワイド スクリーン シグナリング)などに関連した特許があります。近年、シズベルは、UHF-RFID, CDMA2000, DVB-T 及び DVB-T2 規格の重要なパテントプール(複数の特許を一つのライセンスで取得できる)を運営しており、更に LTE, DVB-C2 及び WiFi 規格関連のパテントプール構築に取り組んでいます。

主要な情報について: www.sisvel.com

シズベルジャパン株式会社

広報:

齊藤あかね

電話:+81-(0)3-5251-9500

Email:akane.saito@sisvel.com

Sisvel SpA

Media contact:

Federica Brotto

Tel.:+39-011-9902301

Email:federica.brotto@sisvel.com